

鳴海ヶ丘新聞

第1号

2017年7月



栄光まつり

～親子de「わ」日本の「わ」～

六月二十四日(土)、

栄光まつりが開催されました。今回のお祭りの一番の特色は、日本人の心を体験する場がたくさんあったこと。お抹茶体験では

お着物を着た先生がお作法を手ほどきしながらお菓子と素敵な器でお抹茶を出してくれます。赤い毛氈の上に座ると誰もがいい緊張感の中、楽しそうにお抹茶を味わっていました。



新聞紙あそびやトントン相撲のお部屋からは、お家の人と一緒に作ったり、作ったものであそんだりと、笑い声が絶え間なく聞こえてきました。新聞紙や折り紙といった身近な素材で簡単に作れ、世代を超えて一緒に楽しめる音ながらのあそびは、心が和みます。

雅な色紙づくりのお部屋は、予約制でしたが、多くのお友だちが

参加し、和紙や金粉の風合いを味わいながら製作を楽しんでいました。どの子も集中して取り組んでいたので、お部屋がとても静かだったのが印象的でした。



また、若草会のお母様方企画の、ゲームコーナーや縁日をイメージしたコーナー、バザーは、どれも大盛況で、子どもたちは、繰り返し遊びに来ていました。



いらっしやいませ～

第一ホールからは、軽快なパーカッションやピアノの音色が流れお祭りの雰囲気をお祭りの盛り上げました

一段と盛り上げました沢山の『和』を感じるお祭りとなりました。



なるなる畑に

屋外時計がお目見え！

7月3日、若草会のお母様方と青組の子どもたちが見守る中、屋外時計の除幕式が行われました。時計は、大きな丸型でログハウスの屋根に設置されました。



屋外時計はH29年度の修了記念品としてご寄贈いただきました。

両面とも文字盤がついており、畑から、また運動場からも時間を見ることが出来ます。

「とっても見やすいね！」と子どもたちにも好評です。



「鳴海ヶ丘幼稚園の二十四節気」完成

二十四節気

鳴海ヶ丘幼稚園の子どもたちを包み込む四季折々の自然の写真を、二十四節気を基にまとめた渾身の一冊です。興味のある方には、貸し出しますので、是非お申し出ください。季節を通して本園の教育環境を感じていただけることでしょうか。



「年中行事」

日本の国には、昔から季節ごとに伝統の行事があります。一学期も行事を通じて、お子様は、日本の生活を学んだことと思います。

二学期からも畑の時計と共に年中行事を体験しましょう。

園長 岡田勝彦

ツバメの赤ちゃん

こんにちは

黄二組のテラスの上に、ゴールデンウィーク明けから巣作りはじめたツバメ。オス、メス交代で卵を温め、六月下旬には、「ピーピー」と四羽の赤ちゃんツバメが元気よく鳴き始めました。子どもたちも興味津々。「あー赤ちゃんツバメがお口あけてるよ！」「大きくなってきたね。」と毎日観察していました。そしてヒナは、巣からおしりをフリッと出してフンをするとすることも発見！テラスはフンだらけですが、そんな様子も、とってもかわいいです。もう間もなく巣立ちそうな子ツバメたち。



寂しいですが巣立っていく日まで、見守っていきたいと思います。
黄二組 渡邊 佳央里

ささのは さくらさくら

七月四日、若草会のお母様方にお手伝いしていただきながら、自分で作った七夕飾りや願い事を書いた短冊を、大きな笹に飾り付けました。自分の飾りを見つけると「あった！あれほくの！」と嬉しそうです。「いっぱいひらひらしてきれいだね」とお友だちの飾りも丁寧に飾り付けていました。星に思いを馳せながら、笹飾りを見上げたことは、きっと大人になっても、懐かしく思い起こしていただけることと思います。

